『地域医療について』

大項目３、地域完結型医療について質問いたします。

この4月には、いよいよ加古川市民病院と神鋼加古川病院が統合され、独立行政法人「加古川市民病院機構」としてスタートし、平成29年をめどに新統合病院が建設され全国的にも注目されています。市民の命と健康を守り地域の医療を守るため、２市２町東播磨地域の基幹病院として高度な総合医療を提供できる体制づくりを、全国に誇れる病院建設を、切に望むものでございます。

さて統合後、加古川東・加古川西の2市民病院と新統合病院の姿として、地域医療機関との連携を強化し、病院完結型から地域完結型医療を目指すとされ、一層の連携を図るため“オープンベッド（開放型病床）”や“地域連携パス”などの導入・取り組み・さらなる推進などが示されています。

　そこでお尋ねいたします。質問1点目、現在ある地域医療連携室・カインドカードの活用はどのようにお考えでしょうか。お聞かせください。

質問2点目、1点目と関連して地域との連携を高め、市民への医療充実を図るため、さらなる取り組みは検討されていますでしょうか。

　例えば、①、地域医療機関から患者さんを2次・3次医療機関へ紹介していただく際の“予約システム”を導入して、スムーズな診療を目指す。　②、電子カルテ（Webカルテ）を活用し、地域医療機関とインターネットを通じて情報を共有、撮影したレントゲン写真やカルテ等を二次・三次医療機関でその場で診療・アドバイスしてもらい、患者の時間・診療費などの負担を軽減する。③、高度医療機器を共同利用する。などがあります。システム構築・個人情報・診療報酬等、乗り越えるハードルは高く、様々問題はあると思いますが、いかがでしょうか。

　質問3点目、地域完結型医療を目指すためには、市民のそして何よりも東播磨地域の地域医療機関の理解・協力・信頼関係がなければ成り立ちません。地域医療機関の先生方との連携の進行状況はいかがでしょうか。

　以上で檀上での質問を終わります。ありがとうございました。